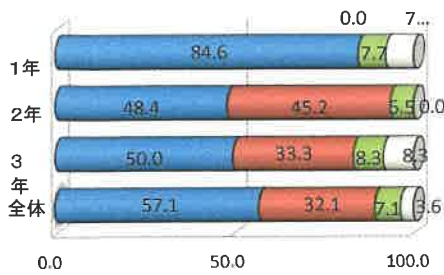


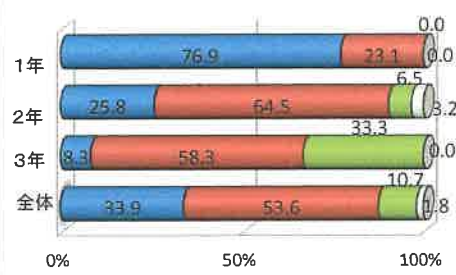
貞光中学校 学校評価アンケート結果(生徒)

■ア:よくあてはまる ■イ:どちらかといえばあてはまる ■ウ:あまりあてはまらない □エ:まったくあてはまらない

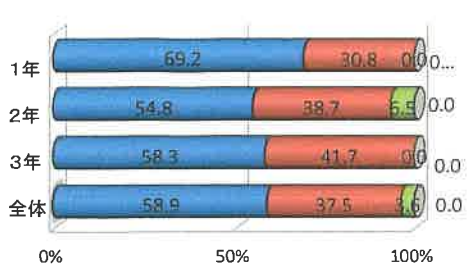
1 私は、学校に行くのが楽しい。



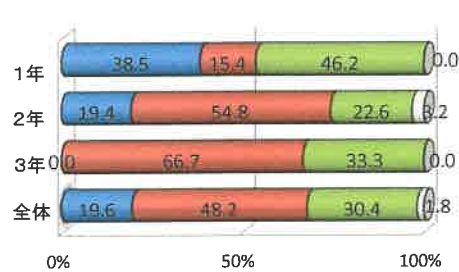
2 私は、夢や目標をもって生活している。



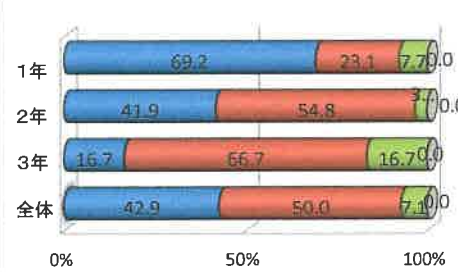
3 私は、学校のルールを守って生活できている。



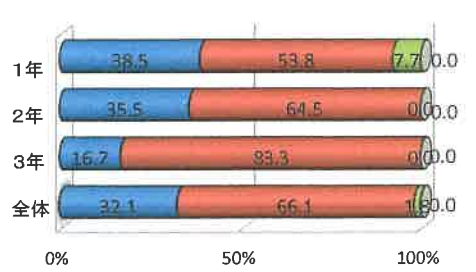
4 私には、相談事や悩みを話せる先生がいる。



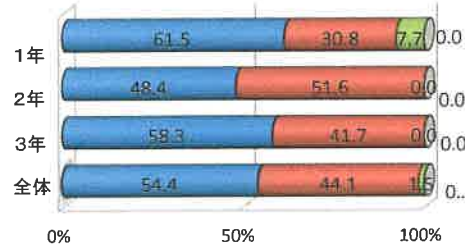
5 私は、積極的にあいさつするようにしている。



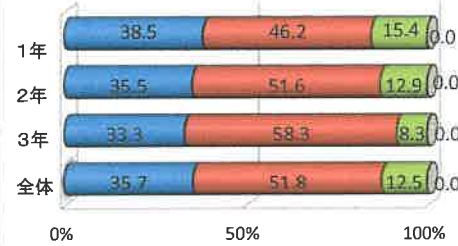
6 先生は、わかりやすく授業を進めてくれる。



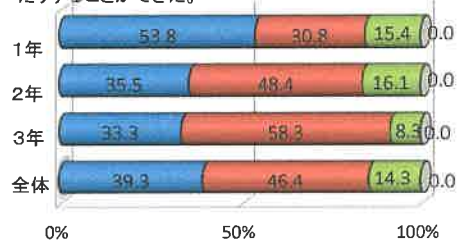
7 私は、いじめや暴力を許さず、みんなが楽しく過ごせる学校づくりに協力している。



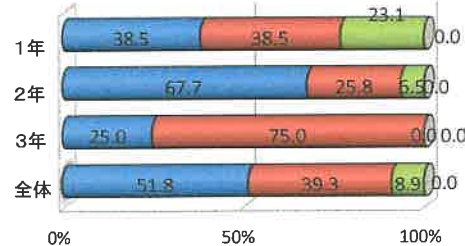
8 先生は、学校生活の中で困ったことやわからないことに適切なアドバイスをしてくれている。



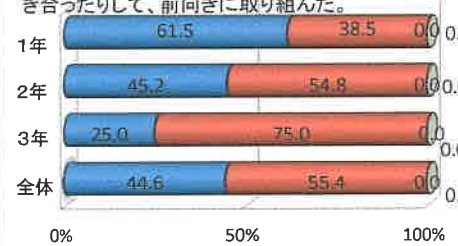
9 私は、授業(道德、学活、総合的な学習の時間を含む)で自分の意見をや考え方を発表したり、誰かに伝えたりすることができた。



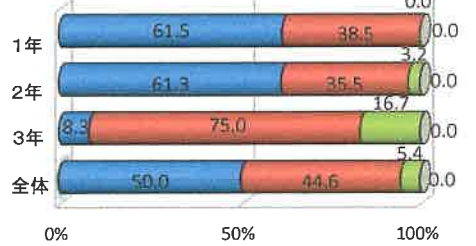
10 学習の中でパソコンやタブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思う。



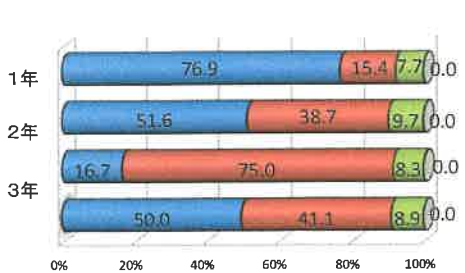
11 私は、道德の授業や人権学習において、自分の生活を振り返ったり、自分の考えや人の意見と向き合ったりして、前向きに取り組んだ。



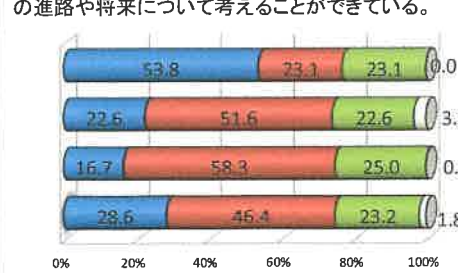
12 私は、学校生活の中で自分の長所を發揮したり、友人の良さを見つけたたりしている。



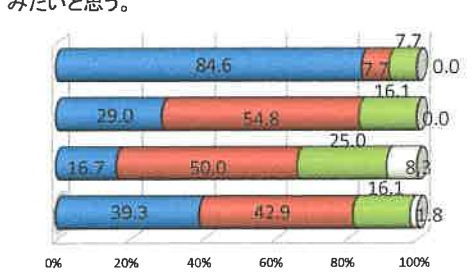
13 先生は、自分の良いところを認めてくれている。



14 私は、働くことや職業について興味を持ち自分の進路や将来について考えることができています。



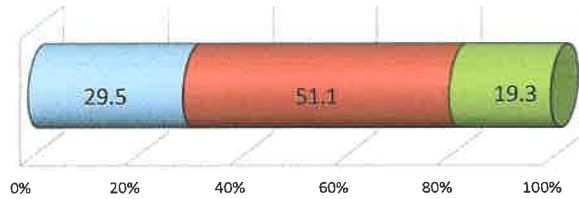
15 私は、地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う。



令和7年度

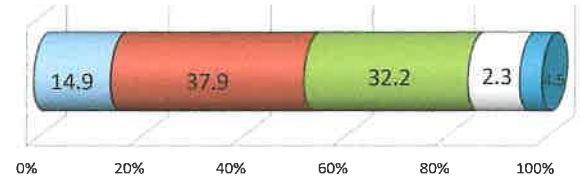
貞光中学校 学校評価アンケート結果(保護者)

1 お子様の学年を回答ください。

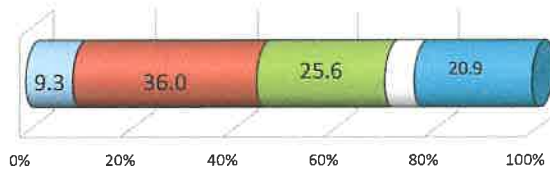


□ア:よくあてはまる □イ:どちらかといえばあてはまる
■ウ:あまりあてはまらない □エ:まったくあてはまらない
■オ:わからない

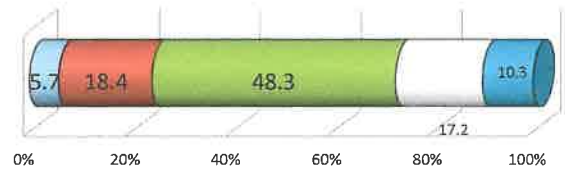
2 お子様は、家庭での学習の仕方を工夫し学習している。



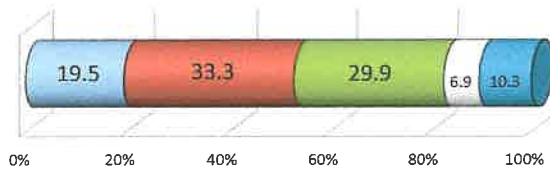
3 タブレットや電子黒板を使った学習でお子様のICT(情報通信技術)の活用能力が高まり、学力の向上にもつながっている。



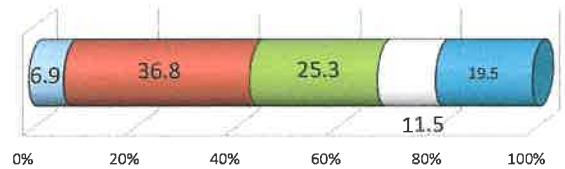
4 あなたのお子様は困ったことや悩みを教職員に相談している。



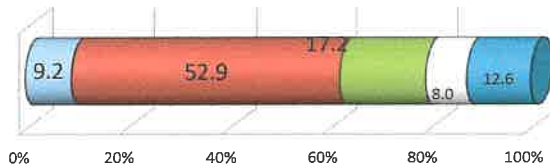
5 学習や生活の場面において、個別に支援が必要なとき、学校に相談できる。



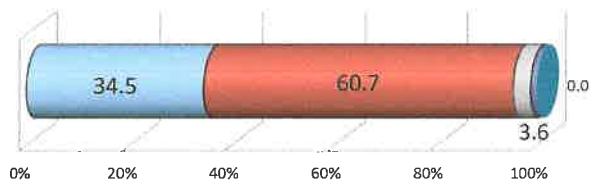
6 学校は、いじめ問題など、生徒指導上の問題の発見、早期対応に努めている。



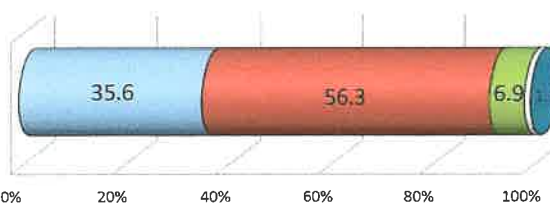
7 学校は、お子様の個性を尊重し、よさや努力を認め励ますことで、お子様の自己肯定感が高まっている。



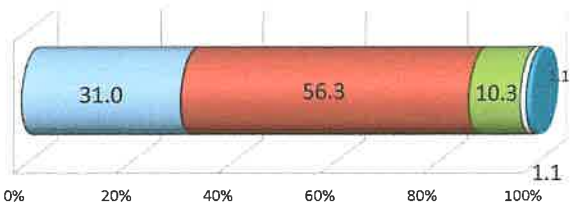
8 お子様は、自分や他人のことを大切にしている。



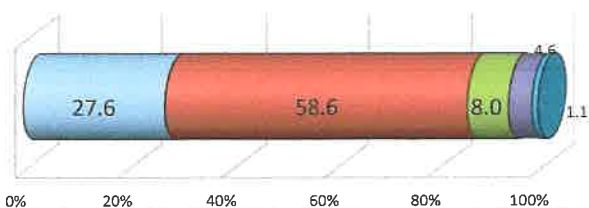
9 人を思いやることやルールを守ることなど、人としての生き方について機会をとらえお子様と話をしている。



10 お子様とお子様の将来や進路について機会をとらえ話をしている。



11 学校の様子が配布物や家庭連絡、ホームページなどでわかる。



アンケートの考察（成果と課題）と今後の改善方策 つるぎ町立貞光中学校

成果

「確かな学力」「豊かな心の育成」「地域・家庭・学校の連携」を重点目標に学校経営を行っており概ね目標達成できた。

・生徒アンケート

ほとんどの項目で好結果を得た。特に「道徳、人権学習への前向きな取組」「学校のルールを守っている」「わかりやすい授業」「積極的にあいさつ」などでは高い好結果を得た。

・保護者アンケート

「学校の様子が配布物や家庭連絡、ホームページなどでわかる」で高い結果を得た。

課題 教職員への相談、キャリア教育・進路指導

・生徒アンケート

「相談事や悩みを話せる先生がいる」が全体で30%以上、1年では46%以上があまりあてはまらないと回答しており、昨年を下回った。「自分の進路や将来について考えることができていく」が全学年で80%を下回る回答であった。

・保護者アンケート

「学校に相談できる」の回答が52%、「お子様は困ったことや悩みを教職員に相談」24%と低い。また「タブレットや電子黒板を使った学習で学力向上につながっている」「学校は生徒指導上の問題の発見、早期対応に努めている。」の回答は「わからない」の回答率が多いものの肯定的な回答率が低い。

今後の改善方策

- ・生徒や保護者に寄り添い、気軽に声をかけられる雰囲気大切に、複数の相談ルートを整えることで、相談しやすい環境をつくる。傾聴を中心とした職員研修を行い生徒・保護者に寄り添う力を養う。
- ・キャリア教育・進路指導は、計画を見直し年間を通して実施しているが、生徒が進路や将来を考える段階には至っていない。学習内容を見直し、職業・進路への興味・関心を育む機会を創出する。
- ・情報モラルに配慮しながら、効果的な情報発信の場としてホームページを有効に活用する。学校行事だけでなく日常の授業など教育活動の様子も公開し、開かれた学校づくりを推進することで、保護者アンケートにおける『わからない』の回答率を下げていく。